

新技術の提案(様式2-1)

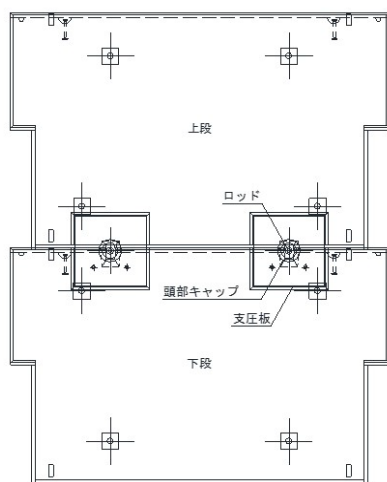
NO.

作成日 令和7年9月24日

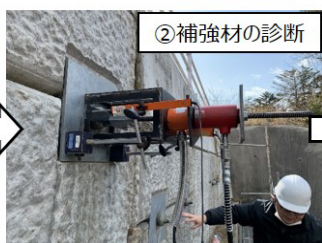
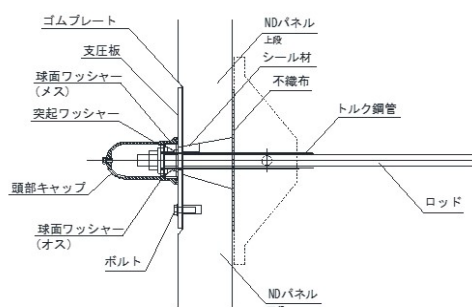
分野	1. 土木	工種	3. 道路		
技術の名称	NDパネル	NETIS 番号	KT-220155-A		
副題(商標名等)	診断対応型 多数アンカー式補強土壁工法	登録(申請)年月日	2022.12.1		
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の□をチェック下さい)				
	☐ 県内に本社のある建設業者等が開発したもの。				
	☐ 県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの				
	☒ 県内に自社工場のある建設関連企業等が開発したもの(工場 市)				
効 果	右番号から選択 1, 2, 3	1 コストの縮減 2 安全性向上 3 品質の向上 4 工期の短縮 5 環 境	6 施工性の向上 7 その他 効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください	分 類	右番号から選択 1
					1 工法 2 材料 3 機械 4 情報 5 その他
開発者 (提案者)	会社名	多数アンカー式補強土壁協会			
	住所	東京都港区港南1-8-27 日新ビル10F	TEL	03-5782-8960	
問合せ先	会社名	多数アンカー式補強土壁協会			
	担当部署	事務局			
	氏名	伊藤 孝典			
	住所	東京都港区港南1-8-27 日新ビル10F (岡三リビング株式会社内)			
	TEL	03-5782-8960	FAX	03-3450-5677	
	URL	http://www.multi-anchor.jp			
	E-mail	ito.takanori@okasanlivic.co.jp			
概要	本技術は、補強材を前面に突出させるための補強土壁用の壁面材及び連結部材である。従来は壁面材の背面で補強材を連結していた。本技術の活用により補強材の非破壊検査による診断が可能となり、補強土壁の安全性向上及び診断時の作業安全性や施工性の向上が図れる。				
特徴	・補強材の非破壊検査による診断が可能となり、過緊張等が検査可能なため、補強土壁の安全性が向上。 ・補強土壁の部材として機能した状態での補強材の診断が可能となり、診断時の作業安全性が向上。 ・診断時に壁面材の研り、復旧作業が不要となり、診断作業の工程短縮や産業廃棄物の発生抑制、騒音・振動による周辺環境への影響を軽減。				
施工方法	①下側壁面材の設置。②診断用補強材設置高さまで盛土材の締固め。③トルク鋼管の仮締めと診断用補強材等の設置。④上側壁面材の設置。⑤盛土材の締固め。⑥トルク鋼管の本締め。⑦以降、従来補強土壁工と同様。⑧補強土壁構築後に診断用補強材の頭部キャップ取付け。				
施工・材料単価(従来との比較)	・施工費用(壁面積180m²、診断部材1セット)。従来技術9,423,658円:新技術9,570,659円。+1.6%。 ・診断費用(1箇所当り)。従来技術1,212,957円:新技術290,848円。-76%。				
適用条件・範囲	氷点下以下での施工を避けることが望ましい。				
施工・使用後の環境への影響	特になし				
施工・使用上の留意点	特になし				
実績状況(相手先、件数など)	7件(国交省2件、NEXCO1件、都道府県4件)				
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	特許番号 6668089				



NDパネル正面図
S=1:10



壁面材貫通部断面図
S=1:5



NDパネルの診断作業工程



従来のアンカー補強土壁の診断作業工程